入園から3ヵ月余り、仲間の絆(きずな)が出てきました　　標津幼稚園　ほし組

しべつ議会だより

6月定例会

第131号

平成21年8月1日

議会構成　常任委員長に木下、安達氏……2
補正予算　金澤体制２期目の初補正……3
一般質問　グループホーム建設計画のその後…4
町民の声　ゴミを捨てないで……8

委員会構成が新たになりました

5月22日の臨時議会において、任期の後半にあたる委員会の構成が新たに決まりました。

常任委員会と議会運営委員会は2年任期で議長・副議長・監査委員は4年任期、特別委員会は調査、審査が終了した時点で任務を終えます。

議長　片岡　博司

副議長　田中　孝幸

議会運営委員会

委員長　竹野　武美
副委員長　小川　悠治
委員　田中　孝幸
委員　木下　孝
委員　安達　護

総務産業常任委員会

委員長　木下　孝

副委員長　千葉　元

委員　吉田　浩一

委員　大垣　勇

委員　神内　正昭

文教福祉建設常任委員会

委員長　安達　護

副委員長　藤巻　国治

委員　田中　孝幸

委員　竹野　武美

委員　小川　悠治

広報特別委員会

委員長　吉田　浩一
副委員長　小川　悠治
委員　安達　護
委員　大垣　勇

地方分権、行財政改革問題等特別委員会

委員長　木下　孝
副委員長　神内　正昭
委員　議長除く全議員

議会選出監査委員

藤巻　国治

委員会の動き

本来、委員会の審査、調査は会期中とされていますが、必要を生じている事項について、議会の議決を経て閉会中であっても審査、調査ができます。住民本位の議会に資するものです。

閉会中の調査事項

議会運営委員会

①本会議の会期日程等議会の運営に関して
②議会活性化対策に関して

総務経済常任委員会

①町有地の有効活用について
②産業環境、防災林、景観林に関して
③美郷団地の定住促進について
④地域経済の課題と対策に関して
⑤サーモンパークの活性化策に関して

文教福祉建設常任委員会

①介護保険・後期高齢者医療制度に関して
②標津川自然復元川づくり計画に関して
③子育て支援に関して
④食事提供施設の食材購入状況に関して

平成21年度第４回臨時町議会

一般会計で384,310千円を補正

7月7日・平成21年度の第4回臨時町議会が開催されました。

2期目を迎えた金澤町長の「町長執行方針」の説明後、一般会計（別表）と特別会計（病院予算・金山地域休養施設等特別会計・サーモンパーク特別会計）が原案どおり可決しました。

（単位　千円）

	金　額	主　な　内　容
総務費	49,219	庁舎改修、恵盟寮改修、定住促進空き家改修
民生費	3,808	ホームヘルパー講習会開催、次世代育成支援行動計画策定
衛生費	50,490	防犯灯、庁舎照明器具更新、病院会計へ（人工呼吸器）
労働費	6,398	ふるさと雇用再生対策委託 野生鳥獣保護強化
農林水産業費	221,203	農業費139,768、林業費3,392 水産業費73,047
商工費	31,470	商店街活性化対策、観光イベント等 物品収納庫建設
土木費	1,000	車輌購入
教育費	20,718	小中学校、体育館物品購入

財源の内訳

国、道支出金181,818千円、地方債11,400千円、その他（補助金、繰越均等）146,225千円、一般財源44,867千円

同意した案件

副町長　橋　英克

▼生年月日　昭和25年3月23日

▼任　期　平成21年7月14日から平成25年7月13日まで

6月定例会　補正予算

《主なもの》

○国民投票に係る投票人システム　82万円
○町内会館改修　37万円
○地域新エネルギービジョン策定　751万円
○アイヌ住宅改良資金貸付　760万円
○語学指導を行う外国者の招聘　50万円
○標津川提外遺産発掘調査　29万円
○健康づくりシンポジーム　23万円
○スポーツ備品　72万円

意見書

2010年国家予算編成における義務教育無償義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率2分の1復元等教育予算の確保・拡充を求める意見書。

提出者　大垣美議員

一般質問 Q & A

2人の議員が3項目にわたり町長・教育長に質問を行いました。

地元職員採用と地元工事発注計画のその後は

地元応募者あり、地元建設業者を指名推薦

〔グループホーム建設計画〕

小川悠治議員

Q グループホーム建設計画に対し、介護サービスの他、雇用対策、地元の経済効果などから町としてこの事業所を指定し、ホームの建設と運営を図るため、町有地2千㎡の無償譲渡を決めた。計画提示後の推移と今後の町の対応を伺いたい。

・法人の現地設立は。

・工事の地元発注は町の業者指名による地域限定の指名競争入札になるのか。その業者指名の時期はいつか。

・ホームの開設は11月1日を予定しているが。

・運営に必要な職員15名中14名の地元採用を予定しているが。

A 現地法人は㈱標津介護サービスで21年3月31日に登録済。施設名は「グループホーム標津」、愛称は「だんらん」である。

・国の交付金決定があり次第、町入札参加指名選考委員会を開催し地元建設業者の全4者を推薦する。ただ、国の交付金を受けると5者以上の競争入札になるので他町から1者程度の参入もやむを得ない。

・工期は7月から9月、開設は11月1日を予定している。

・職員採用計画は、21年に管理者1名、介護福祉士1名、ヘルパー6名、計8名。22年は計画策定者1名、ヘルパー7名、計8名の合計16名である。

公募していない6月4日時点で町内の応募意向者は介護福祉士3名、ヘルパー2名、無資格3名の計8名がいる。

・食材の他、家電や机、いすなど日常備品類も地元調達の申し出がある。近々事務所を構え準備に入る。

地元業者もビジネスチャンスではあるが、誠意をもって対応して欲しい。

標津高校ボランティア体験
（ひまわり・いきいきサロン）

入所者の地元優先と病院との連携は

おのずから町民優先、病院との連携あり

Q ・病院との関係が密接であると入所者も関係者も安心出来る。

・生活保護者の入所は経営的に厳しくなるが差額負担はどうなるか。

・入所は標津町民が優先されるのか明確にしたい。

A ・運営の根幹は、入所者で絶えず満床になっていることである。町としても入所者と家族が安らぐ場であり、安心して預けていただく場になって欲しい。

そのためには、地域や病院との密接な連携が必要である。

病院長も十分相談に乗っていくと話している。

・生活保護者の場合、国から支給される住宅料との差額（約1万6千円）は、厳しいものがあるがグループホームで負担する意向を受けている。

・事業者が入所者を選考するが、町として町民優先を十分念頭において事業者と話していきたい。

人口減少の対応、積極的に
守りから攻めの姿勢で展開

吉田浩一議員

Q 本町の人口は昭和40年の8、051人をピークに年々減少し、現在、5、800人台までに減少し、中でも若年層の減少が著しい。これらの影響は町の長期設計や地域の活性化、消費・経済に及んでおり、また、医療・介護・福祉・公共サービスの住民負担が増大していきます。

平成16年にも若年層の人口流出で発言していますが、この深刻な状況を町長はどのように認識され、どう対応されようとしているのか。

また、人口減少の対応には未来にわたる中長期の総合施策が必要であると思います。特に次の6項目が重要であると考えますが認識と取り組みを伺います。

① 郷土愛と自立心を育む教育の必要性
② 婚姻・子育て支援の充実
③ 産業別減少率の高い農業従事者対策
④ 起業化支援
⑤ 地域ブランドの創出
⑥ 高齢者の人材活用

A 公的機関の将来予測によれば、平成37年には4、323人の人口になるとしている。

少子化の影響もあり、深刻な問題に直面しており、人口減少に歯止めがかからない状態です。町内の商工事業所でも投資拡大は考えられず現状維持も難しく、縮小・後退を余儀なくされる現実に直面しています。

このような状況下で町は何をするべきなのか。今はこの問題を直視して町民と共に一歩前に歩み出すことが必要と考え、人口増加対策を積極的に進めていきたい。

① ふるさと教育の実践が重要であり、体験し児童・生徒自らが考え行動できるようにしていきたい。

人口減に歯止めがかからない

② 結婚祝い金・出産祝い金・医療費無料制度など具体的な施策は有効ですが、財政上の課題があります。

③ 担い手対策の充実を図りたい。

④ どのような起業化支援がよいのか調査しています。

⑤ 産業の付加価値対策としてサケの活〆対策の取り組みを進めています。

⑥ 重要と考えます。

Q 財政上の課題はあるとはいえ、未来への投資は積極的に行う必要があると思う。「小さければ潰けない」現実があることを考慮しなければならない。

A 財政出動の時期はあると思いますが、一旦施策を展開すれば継続が必要で、用意周到でなければならない。「守りから攻め」の姿勢で処していきます。

委員会の動き

総務 経済

第2回委員会（6月17日開催）

●町有地の貸付地の状況
※川北・幕津市街地の宅地化されるべき町有地の状況・将来展望を次回聞くことになった。

●町有林の樹種別財産価値と管理状況

●大規模草地の今後の活用について

Q 今後の大規模草地の活用をどのように考え、計画しているのか。

A 北海道大学との連携で土壌調査などを行い、樹木の種類を選定していきます。

Q 草地化はできないのか。

A 多額の投資が必要であり、草地利用の場は他に求めていきます。湿地帯ですので元の自然な状態に戻し、林帯造成するには技術的な調査研究が必要なため、今回そのための予算を計上しました。

Q 防災道路周辺の草地はプロジェクトの対象になっていないのでは。

A 将来的に馬の放牧や家庭菜園として利用する部分があります。

文教 福祉 建設

道町村議会研修会報告（6月30日開催）

札幌コンベンションセンターで開催された研修会に正・副議長を含む文教福祉建設常任委員会全員が参加した。

始めに山梨学院大学の江藤俊昭氏より「住民自治時代の議会の役割と課題」と題して講演があり興味深かったのが“住民に問いてみよ、議員位置の勘違いを！”議員が住民から離れた存在ではないのか？　行政と議会との2元代表制は与党も野党もない。討議の決定は政策立案・討議の徹底・議決・監視にある。

地方自治は行政と議会とが創りだすものと強いメッセージが江藤先生から聞いた。

続いて「どうなる日本の政治と経済」と題して、読売新聞の橋本五郎氏の講演を聴く、刻一刻と変わる今の政治は、正直解らない。

今後政治がどうあるべきか、先生の生まれ故郷秋田を例に話された。興味深かったのは政治も経済も、福祉医療もどの地方にいても誰もが同じように享受できる政治経済でなければならない。一局集中・都市集中は絶対ダメだ。地方に学校が無くなり、人口が減少し、産業が疲弊することは避けなければならない。議員は声を出し地方から変えていくべきだ。

研修会場に800人が参集

研修休憩のひとこま

議員の出欠状況 （平成20年度）

出席……○
欠席……×

【定　例　会】 議員11人

年月日	氏名／議会名	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
20. 6.24	第２回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 6.25		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 9.24	第３回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 9.25		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.12.17	第４回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.12.18		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 3.12		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 3.13	第１回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 3.18		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【臨　時　会】 議員11人

年月日	氏名／議会名	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
20. 5.22	第２回臨時会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
20. 8. 8	第３回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.12. 4	第４回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 2.23	第１回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【予算審査特別委員会】 委員10人

年月日	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中
21. 3.12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 3.16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 3.17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 3.18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【全員協議会】 議員数11人

年月日	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
20. 6.17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 6.25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 8. 8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 9. 1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 9.24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.11.17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.11.28	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
20.12.17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.12.18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 2. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 2.12	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
21. 2.23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【議会運営委員会】 委員5人

年月日	田中	吉田	竹野	千葉	小川
20. 6.17	○	○	○	○	○
20. 6.24	○	○	○	○	○
20. 9. 1	○	○	○	○	○
20. 9.17	○	○	○	○	○
20.12.11	○	○	○	○	○
21. 3. 6	○	○	○	○	○

【総務経済常任委員会】 委員5人

年月日	千葉	大垣	神内	安達	田中
20. 5.19	○	○	○	○	○
20. 6.17	○	○	○	○	○
20. 7.17	○	○	○	○	○
20. 9.17	○	○	○	○	○
20.12.11	○	○	×	○	○
21. 2.23	○	○	○	×	○

【決算審査特別委員会】 委員9人

年月日	大垣	神内	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中
20. 9.25	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.11.10	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.11.11	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.11.13	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.11.17	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【地方分権・行財政改革問題等特別委員会】 議員数10人

年月日	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中
20. 4.17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20. 9. 1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

【文教福祉建設常任委員会】 委員5人

年月日	小川	藤巻	木下	吉田	竹野
20. 4. 3	○	○	○	○	○
20. 5.20	○	○	○	○	○
20. 6.17	○	○	○	○	○
20. 8. 8	○	○	○	○	○
20. 8.28	○	○	○	○	○
20. 9.17	○	○	○	○	○
20. 9.25	○	○	○	○	○
20.10.20	○	○	○	○	○
20.12. 4	○	○	○	○	○
20.12.11	○	○	○	○	○
21. 1.13	○	○	○	○	○
21. 2.23	○	○	○	○	○
21. 3. 4	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】 委員4人

年月日	吉田	小川	大垣	安達
20. 4.15	○	○	○	○
20. 4.22	○	○	○	○
20. 6.25	○	○	○	○
20. 7.14	○	○	○	○
20. 7.18	○	○	○	○
20. 9.12	○	○	○	○
20. 9.25	○	○	○	○
20.10.14	○	○	○	○
20.10.17	○	○	○	○
20.12.17	○	○	○	○
21. 1.16	○	○	○	○
21. 1.22	○	○	○	○
21. 3.12	○	○	○	○

町民の声

先日の新聞で2期目の町長の考えを見ました。

色々なことを模索しているようですが、2期目は他の権力に影響されることなく自分の考えを全面に出し、町民や議会の皆様に投げ掛け議論し、今より一歩でも前進することを期待しています。

（70代女性）

「小さくてもキラリと光る標津町」「小さくて見えなくなる標津町」にならないために。

わざわざご苦労なことに遠路川原まで車でやって来て、家庭ゴミやテレビなどの家電を不法に投げ捨てる輩が後を絶たない。

我町の住人は不法投棄するような不心得な人はいないと信じたい。

道端に投げ捨てられた空き缶は、大概がコーヒー缶でそれも同じメーカーの物である。然るに投げた人物は同一人である可能性が大である。心当りのある方は、投げ捨てないようにお願いします。

日本で最も美しい町を目指し、議員提案による「投げ捨て禁止条例」を制定し全町民を不法投棄監視員に任命し、投棄者は氏名公表と罰金を。

（60代男性）

町は、美しい町づくりを町民や町内会に呼びかけている。国道、道道、町道に花を植えてきれいにしているが一歩中に入るとどうだろう？一番目に付くのは公住ではないか。ベランダに花や木、小さな畑などきれいにしている人もいる外、廃車、古タイヤ、ゴミ、バラック建物、生い茂ったままの雑草などとても見るに堪えない状況がいたるところにある。町は、公住を借りる人たちにどのように対応しているのか疑問を感じる。

入居者に対するルールを作って徹底した指導をして欲しい。

（60代男性）

町の動きを少しでも知ろうと広報誌を読ませていただいています。

年のせいか身体の衰えを感じるこの頃ですが、とりわけ、視力が弱くなっているので字が小さく感じます。

他の本でも、かなり大きい字になっているのにもっと工夫してほしいと思います。

高齢者への負担が重くなっている昨今、否定はしませんが、生活の中で配慮していただければありがたいですね。

（70代女性）

「町民の声」の投稿をお願いします。
議会事務局まで。

編集室

●最近ガンで亡くなる人の多さが目立っているような気がします。

将来には不治の病ではなくなるといわれながら、現実の痛ましさに哀惜の念にたえません。私達にできることは早期発見のための健康チェックを心がけて、時間を惜しまず行うことではないでしょうか。

標津病院でも健康診査が受けられます。人命は町のかけがえのない財産、健康な毎日への気配りをしましょう。

（吉田　浩二）

議　長　片岡　博司
広報特別委員会
委員長　吉田　浩一
副委員長　小川　悠治
委　員　安達　護
委　員　大垣　勇